

# 1. 学勢調査概要

## 1.1. 調査目的

本学の大学運営は国立大学法人化を経て学長のリーダーシップの下で自主的・自律的に行われています。大学運営とそのサービスの受け手である学生が切り離されている場合、大学のシステムと学生のニーズにはずれ違いが生じやすくなります。そのため、良い大学運営を目指す上で、学生の声を汲み上げることが重要となっています。

本調査では学生スタッフが調査項目を考え、調査結果を解析し、提言を行い、本提言書を学長に奉呈することで、今後の大学運営の判断材料となることを目的としています。

## 1.2. 調査母体

学生支援センター自律支援部門に置かれている学勢調査 2018WG が学生スタッフを募集し、アンケート調査を実施いたしました。

## 1.3. 調査時期・調査対象・調査事項

本調査は、2018年6月11日～同年7月11日に実施しました。本調査では本学に在籍している全学生を対象としました。

調査事項については、「5. 調査資料集」に掲載しましたので、そちらをご参照ください。

## 1.4. 調査方法・分析方法

本調査は、本学の学生を対象に、教務 WEB システムのアンケート機能を利用して行われました。個人は特定できないようアンケート結果を集計しています。

調査項目は学生スタッフが設問検討会議での検討を重ね決定しました。回答データも学生スタッフがデータ分析を行い、議論を重ね、その結果に基づき本提言書を作成いたしました。

## 1.5. 回答者の属性と推移

学勢調査 2018 の回答者は 2619 人となり、これまでに行われた学勢調査と比べ、過去最高の回答者数となりました（図 1.5.1）。回答者数が大きく増えた原因として、質問数の大幅な削減により学生が回答しやすくなったこと、実施時期を 10 月～11 月から 6 月～7 月に変更したこと、広報活動強化により積極的に回答を促したことが考えられます。回答者の男女比率については男性 2094 人、女性 439 人、非回答 54 人と、男性が多数を占めています。

## 1. 学勢調査概要

まず、この結果は本学における男女比率（男性 8876 人，84%，女性 1724 人，16%）を反映したものとなっています。

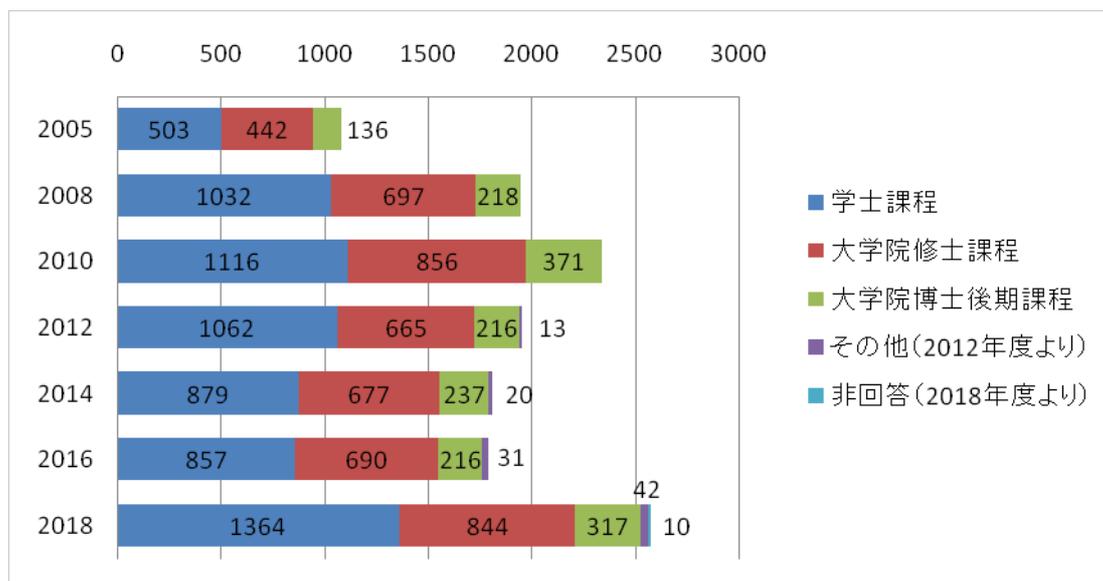


図 1.5.1 学勢調査回答者数の遷移

## 1.6. 全体会議の記録

### ● 設問検討会議

計 6 回にわたり調査項目の検討を実施し、不必要調査項目の削除、新調査項目の選定を行いました。学勢調査 2018 設問検討会議の日時・議題は以下の通りです。

- 第 0 回 2017 年 11 月 29 日（水） 学勢調査オリエンテーション
- 第 0 回 2017 年 12 月 06 日（水） 学勢調査オリエンテーション
- 第 1 回 2017 年 12 月 06 日（水） 学勢調査 2016 の復習
- 第 2 回 2017 年 12 月 13 日（水） 項目検討—大学・学習関連
- 第 3 回 2017 年 12 月 20 日（水） 項目検討—施設・生協関連
- 第 4 回 2018 年 01 月 10 日（水） 項目検討—サービス関連
- 第 5 回 2018 年 01 月 17 日（水） 項目検討—基本・新規質問
- 第 6 回 2018 年 01 月 24 日（水） 調査項目全体確認

### ● 提言書作成会議

計 9 回にわたり、提言書作成に関する議論等を行いました。学勢調査 2018 提言書作成会議の日時・議題は以下の通りです。

- 第 0 回 2016 年 07 月 04 日（水） 学勢調査オリエンテーション
- 第 0 回 2016 年 07 月 11 日（水） 学勢調査オリエンテーション
- 第 1 回 2018 年 09 月 05 日（水） 提言書作成の進め方と予定

- 第2回 2018年09月19日(水) 回答解析の分担作業
- 第3回 2018年10月10日(水) 自由記述解析のグループワーク
- 第4回 2018年10月22日(月) 提言案作成の指針決め
- 第5回 2018年11月05日(月) 解析結果の検討1
- 第6回 2018年11月15日(木) 解析結果の検討2
- 第7回 2018年12月03日(月) 提言案の検討・選別1
- 第8回 2018年12月13日(木) 提言案の検討・選別2
- 第9回 2019年01月07日(月) 提言案の議論・調整

## 1.7. キャンパスミーティング

キャンパスミーティングとは、調査結果ならびにそれに基づいて作成された提言案について、本学の事務局各部局へ質問書を提出し、学勢調査スタッフと各部局教職員の方々との意見交換を行うものです。キャンパスミーティングを行うことにより、大学と学生の間での情報不足による誤解を避け、双方の実態や価値観を照らし合わせることで、相互理解を促進させ、より現実的で実効性のある提言案を作成することができます。今回、ご協力いただいた事務局担当ならびに教職員の方は以下の通りです。ご多用の中、キャンパスミーティングにご協力いただきまして誠にありがとうございました。

- |               |    |                  |
|---------------|----|------------------|
| — 生命理工学院      | …… | 生命科学基礎の講義について    |
| — 総務部人事課      | …… | 本学の勤務報告書について     |
| — 学務部教務課      | …… | 本学の教育とそのサービスについて |
| — 学務部学生支援課    | …… | 学生生活全般について       |
| — 研究推進部情報図書館課 | …… | 図書館について          |
| — 研究推進部情報基盤課  | …… | キャンパス無線LANについて   |
| — 施設運営部安全企画室  | …… | 防災訓練について         |
| — 東京工業大学生協本部  | …… | 食堂について           |

## 1.8. 公表と報告

本提言書は、学長への奉呈後、インターネットの学勢調査専用サイトおよび冊子で公表されます。冊子は大岡山とすずかけ台の両キャンパス図書館で閲覧できます。

※学勢調査専用サイト：<http://www.siengp.titech.ac.jp/gakuseichousa/>

学勢調査2018データを利用する際には、学内外に関わらず、事前に学生支援センター自律支援部門 [gakuseichousa1 \[at\] jim.titech.ac.jp](mailto:gakuseichousa1@jim.titech.ac.jp) へご連絡ください。